

中学校 第3学年 英語科学習指導案

日 時 平成28年11月2日(水) 公開授業Ⅳ
学 級 中学校 3年
男 2名 女 3名 計 5名
場 所 中学校 3年教室
指導者 千葉 伴

1 単元名 PROGRAM7 What Is the Most Important Thing to You

2 題材設定について

本題材は学習指導要領の「関係代名詞のうち、主格の **that, which, who**、話すこと」をうけて設定された。表現の幅が広がることで、今までどのように英語で説明したらよいかわからなかったことを、説明できるようになる。また、最終的にこれまで学習してきた用法を使って **Special Project** において卒業への思いや、お世話になった人への手紙、中学校生活の思い出、未来の自分への手紙などのテーマについて、卒業に向けた思いなどを英語で表現することを意識付けさせ、見通しをもたせながらそれぞれの単元を指導していきたい。

英語を母国語とする外国人 (ALT) と英語を使って会話できることを目標としている。自分で話そうと思うことが複雑な文章だとしても 2 文に分割すれば簡単になるなどの判断をし、どうすれば伝わるだろうかを思考し、自分なりに工夫して発話する過程になれさせたい。例えば「葉っぱが動いている。」を表現するときに、“wave”がわからなくても、“A leaf is dancing.”と咄嗟に表現を切り替えられる力をつけさせ、口頭でアウトプットすることに慣れさせたい。そのために、本文内容をマッピングあるいは要約する活動、それを見ながらアウトプットする活動を継続させている。必要感のある場面設定をし、自分の言葉で表現する練習を継続して行わせることで、思考し、工夫し、判断する訓練を続け、表現の能力 (話すこと) を発展させたい。教科書左側の新出の文法事項を含む英文を必ず取り入れて、5 文表現できれば A の評価を統一して継続している。これは時間またぎになることもあるがほぼ達成することができている。文法については **Basic Dialog** の理解、暗唱、**Listen**、**Speak** を学習しながら運用の仕方になれさせ、副教材でドリル学習、発展スキットとつなげていきたい。生徒はこれまで人称、指示、疑問、数量などの代名詞を学習しているが、今回の題材ではこれまで学習してきたものをもう一段階深める学習ができるので、この機会に復習を含み学習させたい。

生徒間の学力差が大きいため、それぞれの生徒にふさわしい目標を持たせて指導にあたりたい。一人ひとりその都度評価できることが小規模校の利であると考え。評価の機会を生かし、それぞれの生徒に達成感を味わわせたい。また、時間内に活動を終わらせられなかった生徒には、課題を宿題とし、次時の冒頭に評価することで時間の補償をしたい。毎回、話すことから書くことにつながる活動を継続しているが、単語のミスが目立つ生徒には、専用のノートに間違えた単語を練習する習慣をつけさせ、ミスを減らせるようにしたい。

3 単元の目標と評価規準

- 関係代名詞(主格) **who** を使って、人について説明することができる。
- 関係代名詞(主格) **which** を使って、ものや事について説明することができる。
- 関係代名詞(主格) **that** を使って、人やもの、事について説明することができる。

【理解の能力】

- ・書かれた内容を考えながら読み、あらすじを正確に読みとることができる。

【表現の能力】

- ・書かれた内容を自分なりの英語で聞き手に正しく伝えることができる。

4 単元の指導計画（7時間扱い 本時6／7）

	時	学習活動
PROGRAM7	1	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞（主格）who を用いた文の構造を理解する。 どんな女の子に焦点を絞った会話をしているのか、関係代名詞(主格) who を含む Basic Dialog を読み取り、理解する。 Listen, Speak, Try で運用に慣れる。 副教材を使用したドリル学習やスキット教材を使用し、理解を深める。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文のあらすじを読みとり要約する。 教科書 P67 の単語、連語等の意味や発音を確認する。 教師の質問に答えて、山本さんの行動の原因となる出来事を理解する。 音読練習しながら本文理解をすすめる。 書かれた内容を自分なりの英語で聞き手に正しく伝える。
	3	<ul style="list-style-type: none"> 前時の活動の結果を報告し合う。 どんなケーキに焦点を絞って会話しているのか、関係代名詞(主格) which を含む Basic Dialog を読み取り、理解する。 Listen, Speak, Try で運用に慣れる。 副教材を使用したドリル学習やスキット教材を使用し、理解を深める。
	4	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文のあらすじを読みとり要約する。 教科書 P69 の単語、連語等の意味や発音を確認する。 教師の質問に答えて、山本さんが絵を描かせる意味を考えるきっかけとする。 音読練習しながら本文理解をすすめる。 書かれた内容を自分なりの英語で聞き手に正しく伝える。
	5	<ul style="list-style-type: none"> 前時の活動の結果を報告し合う。 どんな店を教えたいのか、関係代名詞(主格) that を含む Basic Dialog を読み取り、理解する。 Listen, Speak, Try で運用に慣れる。 副教材を使用したドリル学習やスキット教材を使用し、理解を深める。
	6 本時	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P71 の単語、連語等の意味や発音を確認する。 教師の質問に答えて、山本さんがなぜ異なる国の子どもが描いた絵を子どもたちに見せる活動をしているのか考えるための本文理解をすすめる。 音読練習しながら本文理解をすすめる。 書かれた内容を自分なりの英語で聞き手に正しく伝える。
	7	<ul style="list-style-type: none"> 前時の活動の結果を報告し合う。 PROGRAM7 のまとめをする。（単元テスト、インプットテスト、show & tell 等）

5 本時の目標

- 書かれた内容を考えながら読み、あらすじを正確に読みとることができる。
- 書かれた内容を自分なりの英語で聞き手に正しく伝えることができる。
- なぜ山本さんが宇宙船地球号活動をしているのかを確認するための Q に答えることができる。

6 本時の指導の構想

(1) 「見通しと振り返り」の位置づけ

見通し Special Project を意識付けさせるために、新出の文法事項を含んだ表現を必ず含めさせることとする。

振り返り 要約したものをしながら、アウトプットすることを本時の振り返りとする。

(2) 指導構想及び留意点

自分のめざす目標を個人で設定させることで、それぞれ自主的に学習に取り組ませたい。

(例) アウトプットまで終わらせる。要約まで終わらせる。Basic Dialog を暗唱する等。

(3) 評価規準

本時の評価規準	支援の手立て
<ul style="list-style-type: none"> 山本さんがなぜこのような活動をするのかということについて、内容理解をすすめ、本文を4文程度で要約することができる。 要約（あるいはマッピング）を見ながら4文アウトプットできる。 教科書下の Yes/No、疑問詞で始まる疑問文に答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語訳例を要約の手助けにする。 関係代名詞(主格) that を使用する英文を含ませられるように支援する。 疑問文には補助にスラッシュを入れさせる。

7 本時の展開

段階	学習活動	○指導上の留意点 ☆評価の観点
導入 10分	1 今日の授業の 見通し を確認する。	○見通しの説明をする。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> Why do the children look at the pictures? </div>	
展開 30分	2 帯活動をする。	○テスト対策として、主にイディオムを1分間で。毎時間行い、最終的にテスト。90%達成で評価 A。
	3 新出語句の確認をする。 4 読み取りをする。 5 音読練習をする。	○Q&A で大まかに読み取りをすすめさせる。 ○最低 5 回音読させ理解を深めさせる。意味の区切りを意識しながら音読することを心がけさせる。
	6 本文要約（あるいはマッピング）	☆【理解の能力】要約（あるいはマッピング）ができているか。 ○要約（あるいはマッピング）が困難な生徒に補助する。 ○困難な生徒には Basic Dialog 暗唱等、別の目標を考え設定させる。
	7 アウトプット 振り返り	☆【表現の能力】要約や日本語訳を見ながら、アウトプットできているか。 ○その際、新出の文法事項を使った表現を必ず含ませる。 ○自分の考えや意見を含ませる。 ○口頭でアウトプットしたものをノートに書かせ振り返りさせる。 ○ノートに本時の学習で考えたことや気づいたことを振り返りコメントを残す。

終 末 10 分	<p>8 Q に答える。</p> <p>Q1. Do the children's pictures tell anything that is important to them?</p> <p>A1. Yes, they do.</p> <p>Q2. What will children learn through the project?</p> <p>A2. They will learn some differences in the world.</p> <p>9 次時の確認をする。</p>	<p>○必要に応じて補助する。</p> <p>☆【理解の能力】なぜ山本さんが宇宙船地球号活動をしているのかを確認するための Q に答えられているか。</p> <p>○次時の説明と、宿題の指示をする。</p>
-------------------	--	---

8 本時の板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Why do the children look at the pictures?</div>	<p>new words</p> <p>different</p> <p>attention</p> <p>act</p>
<p>1) You must summarize more than 4 sentences.</p> <p>2) You must use "that" in it.</p> <p>3) check</p> <p>4) write down on the notebook</p> <p>5) answer the question</p> <p>6) leave your comments</p>	